

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ノピロ学園児童デイサービスセンター			
○保護者評価実施期間	7年 11月 3日		～	7年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	7年 11月 3日		～	7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 2日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○活動環境 ・デイサービス内には、大きな体育館があり、体を動かした療育を行うことができる。 ・自然に囲まれた場所にあり、自然に触れながら療育を行うことができる。	・体育館があるため、個々のニーズに合わせて筋力や体力の向上を図ることやバランス感覚を養うことを意識した療育を行っている。 ・自然に触れ、見たり、聴いたり、触ったりすることで心身の発達や感受性の豊かさに繋がるよう、取組みを行っている。	・様々な遊びを提供することで楽しく身体の上昇を図れるよう、取り組んでいく。 ・季節を感じられるような取組みを行うことでより心身の発達や感受性の豊かさを深めていく。
2	○子ども同士の関わり ・様々な年齢のおさんが来所されており、関わりを通して社会性や協調性を学ぶことができる。	・活動の中で子ども達同士の関わりが増えるよう、取組みを行っている。その中で社会性や協調性を育むことができるよう取り組んでいる。	・楽しみながら関わりを持つことができるよう、柔軟に活動内容の工夫を行っている。
3	○日中一時支援、短期入所との併用が可能 ・敷地内には入所施設が併設しており、デイサービスの活動後に日中一時支援や短期入所の利用も可能である。	・日中一時支援や短期入所ご利用の際には、支援者間でお子様の健康状態や活動中の様子、保護者からの様子について情報を共有できるよう、細かく引継ぎを行っている。	・より良いお子様の支援に繋げられるよう、支援者間で情報共有を密に行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○交通の不便さ ・デイサービスの場所が自然豊かな場所にあることから、スーパー等の商業施設まで距離があることや公共機関についても距離があることから活動展開の幅を広げにくい。	・地域の子どもと活動する場が限られてしまう。 ・社会体験できる場に工夫が必要である。	・公用車を活用しながら、活動を展開を行うことで地域交流や社会体験の場を広げていく。
2	○設備 ・療育をより良くするためには、設備を整えることが必要であるが、建物の構造上、難しい箇所も見られている。	・療育への幅が狭まってしまう。	・難しい部分については、代用できることはないか検討を行っていきながら、より楽しめるような活動を工夫し、療育を行っていく。
3			